



1200匹の鯉のぼり大空に舞う

◇風と大地の饗宴
 本日4月25日(日)まで、相模川新磯地区河川敷・新戸スポーツ広場で開催。時間は9時～16時まで。政令指定都市誕生を祝う大風揚げのイベントで、全国各地の大風が参加。大風揚げは11時と13時、問い合わせは、同実行委員会事務局 ☎046(251)0014へ。

4と5月 市内の主なイベント

◇泳げ鯉のぼり相模川

4月29日(祝)～5月5日(祝)、水郷田名の相模川高田橋上流で開催。川の上に5本のワイヤーを渡し、約1200匹の鯉のぼりが泳ぐ(期間中は終日)。河川敷には模擬店も多数出店。29日午後1時30分、開会式と鼓笛バンド演奏などの催しもある。クルマは河川敷に駐車できるが、周辺道路が渋滞するのでご注意ください。問い合わせは、市観光協会(商業観光課内) ☎046(251)0014へ。



今年の題字は「祝政」です

◇相模の大風まつり

5月4日(祝)・5日(祝)10時～16時、相模川新磯地区河川敷4会場で開催。新戸スポーツ広場では、同まつり最大の大風(14・5辺四方)を揚げる。両日は、JR相模線「相武台下駅」から巡回バス(無料)が20分から30分間隔で運行される。問い合わせは、同まつり実行委員会事務局 ☎046(251)0014へ。

◇クレマチスフェア

5月9日(日)10時～15時30分、相模原麻溝公園で開催。クレマチス花鉢展示、苗木・花鉢の即売、園芸相談ほか、スタンプラリーや模擬店、クラフトや竹トンボ作りなどの体験コーナー、野菜販売、陶器・木工製品の即売などいろいろ。問い合わせは、市みどりの協会 ☎042(777)2860へ。

あさポケは、がんばる“あなた”を応援します!

毎月第4日曜日発行
 発行所 (有)イワサキ
 ASA相模原中央 ☎042-752-9497
 ■あさのポケット編集室
 〒252-0313 相模原市南区松が枝町7-4
 TEL/FAX 042-702-0668
 E-mail: asapoke@mtg.biglobe.ne.jp
5月号 2010年(平成22年) 4月25日(日) No.104

ASAのコミュニケーションペーパー あさのポケット 中央版



ホームページも公開中 <http://www.asapoke.net>



ベルマーク運動は1960年、朝日新聞社の呼びかけで始まった。教育助成運動です。運動の中心となるベルマーク教育助成財団は今年の10月24日、創立50周年を迎えます。運動の節目として、ベルマーク運動の新しいキャラクターを作り、一般公募で愛称を募集しました。

キャラクターは「ヤドカリ」をモチーフにしたもので、マークを切り取るハサミ、集めたマークを貯めるベルマーク型の貝を持っています。家庭で楽しみながら協力して集めてほしいとの思いを込めて、お父さん、お母さん、小学校高学年の男子、低学年の女子の兄妹4人家族の構成です。

4月上旬、総数7772件の応募の中から、親しまれやすく覚えやすい4人の名前が決まりました。メインとなる男子の子が「ベルマークくん」、女の子が「りんちゃん」、お父さんが「パパベル」、お母さんが「ママベル」です。

ベルマーク財団では、参加校・団体の皆さんの「ベルマークだより」「PTAだより」や活動報告、

ベルマーク運動は1960年、朝日新聞社の呼びかけで始まった。教育助成運動です。運動の中心となるベルマーク教育助成財団は今年の10月24日、創立50周年を迎えます。運動の節目として、ベルマーク運動の新しいキャラクターを作り、一般公募で愛称を募集しました。



ベルマーク運動 50周年記念し新キャラクター登場

地域への協力呼びかけなど、さまざまな印刷物に使っていたけりよう、新しい4人のキャラクターを、財団のホームページからダウンロードできるようにしています。「ぜひご利用ください」。

また、同財団では主な50周年記念事業として、オリジナル回収箱や子供たちにベルマーク運動の仕組みや意義をわかりやすく伝えるハンドブック、50周年記念ポスターなどを全参加校・団体へ配布する予定です。「詳細が決まり次第、ホームページやベルマーク新聞でお知らせします」とのことです。問い合わせは、財団法人ベルマーク教育助成財団 ☎03(3572)4937へ。

観光親善大使決まる

相模原市の魅力を積極的に市内外にPRする、今年度の相模原市観光親善大使(第4代)が決まりました。

3月10日、市役所で委嘱式が行われた。

4代目の観光親善大使は(写真左から)、梶田直子さん(21・宮下本町在住)、高木真莉子さん(18・元橋本在住)、永尾知子さん(25・矢部在住)の3名で、名誉観光親善大使は昨年度に引き続き片山右京さんが務める。

任期は4月1日から来年3月31日までで、①公共的なイベントに参加し、観光PRに努める、②他都市との交流事業に参加し、市のシティーセールスに努める、③公共的な広報活動に参加し、市の情報発信に努めるなどの内容。年間15回程度の出番があるという。



パレードに参加したわんわんパトロール隊

わんわんパトロール隊、桜まつりで活躍

第37回相模原市民桜まつりが4月3日、4日、市役所通りなどで開かれ、過去最高46万人の人数で賑わった。

両日とも晴天に恵まれ、桜も満開。政令指定都市誕生を祝って開催された桜まつりを多くの人が楽しんだ。3日の安全安心まちづくりパレードには、横山公園を拠点に毎週防犯パトロールを続けているわんわんパトロール隊が活躍した。

「一瞬を撮るために、準備して長時間も待っています。ここだと思ふ風景を歩いて探すのも楽しいですし、夢中になって撮っていますね」。撮影旅行には奥さんの三枝子さんも同行することも多く、夫婦で楽しんでいくそうです。

今までに『県のため』の表紙の投稿写真に3度採用され、次回の5月1日号でも相模の大風まつりの写真が掲載されるそうです。また、相模原市観光協会のホームページや星が丘公民館の50周年記念誌にも片岡さんの写真が、たくさん採用されています。作品は、

いさほマイ・ライフ シリーズ26

風景写真

星が丘3丁目在住

片岡 正光 さん



身延山のしだれ桜、立山の紅葉、雪景色の三千院など、四季折々の美しい風景をカメラに収めようと日本中を旅しているそうです。カメラとの出会いは18歳の時、父親に一眼レフを買って貰ったからです。

身延山のしだれ桜、立山の紅葉、雪景色の三千院など、四季折々の美しい風景をカメラに収めようと日本中を旅しているそうです。カメラとの出会いは18歳の時、父親に一眼レフを買って貰ったからです。



片岡さんの作品「本栖湖芝桜」

ご自身のブログ「相模原のカメラマン」で見ることが出来ます。「写真を通して、自分の感動を多くの人に伝え、共有したいですね。ブログで全国に知り合いができましたし、自分の写真で喜んでもらえるのが本当にうれしいですね」と、笑顔で話していました。

あさポケ次号5月23日(日)の発行です。

あさポケとASAは、「SC相模原」を応援しています!